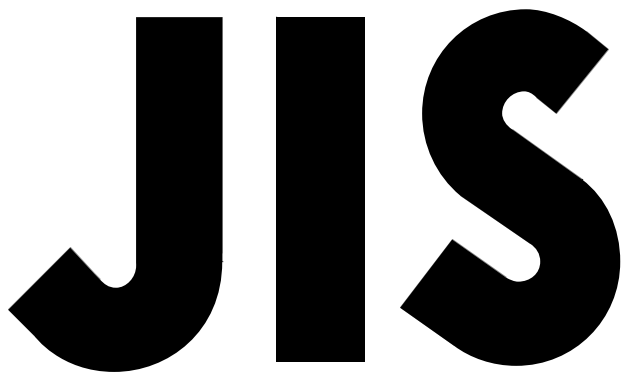




コンクリートの反発度の測定方法

JIS A 1155 : 2012

(JCI)

平成 24 年 3 月 1 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 土木技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	河 野 広 隆	京都大学
(委員)	阿 部 道 彦	社団法人日本建築学会 (工学院大学)
	綾 野 克 紀	公益社団法人日本コンクリート工学協会 (岡山大学)
	石 坂 弘 司	東京都
	宇 治 公 隆	公益社団法人土木学会 (首都大学東京)
	古 賀 康 男	社団法人セメント協会
	木 幡 行 宏	室蘭工業大学
	小 林 延 房	社団法人日本建設業連合会 (飛鳥建設株式会社)
	清 水 和 久	特定非営利活動法人コンクリート製品 JIS 協議会 (旭コンクリート工業株式会社)
	鈴 木 一 雄	全国生コンクリート工業組合連合会
	須 田 久美子	鹿島建設株式会社
	長谷川 直 司	独立行政法人建築研究所
	真 野 孝 次	財団法人建材試験センター
	利 藤 房 男	公益社団法人地盤工学会 (応用地質株式会社)
	渡 辺 博 志	独立行政法人土木研究所

主 務 大 臣：国土交通大臣 制定：平成 15.5.28 改正：平成 24.3.1

官 報 公 示：平成 24.3.1

原 案 作 成 者：公益社団法人日本コンクリート工学会

(〒102-0083 東京都千代田区麹町 1-7 相互半蔵門ビル TEL 03-3263-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 稲葉 敦)

審議専門委員会：土木技術専門委員会 (委員長 河野 広隆)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者、国土交通省住宅局 住宅生産課 [〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-3 TEL 03-5253-8111 (代表)] 又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 [〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 TEL 03-3501-1511 (代表)] にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文.....	1
1 適用範囲.....	1
2 引用規格.....	1
3 用語及び定義.....	1
4 試験用装置及び器具.....	2
4.1 リバウンドハンマー.....	2
4.2 テストアンビル.....	2
4.3 研磨処理工具（と石）.....	2
5 測定の準備.....	2
5.1 リバウンドハンマーの点検.....	2
5.2 測定箇所の選定.....	3
5.3 コンクリート表面の処理.....	3
6 測定方法.....	3
7 計算.....	3
8 報告.....	4
8.1 必ず報告する事項.....	4
8.2 必要に応じて報告する事項.....	4
附属書 JA（参考）JIS と対応国際規格との対比表.....	5
附属書 JB（参考）技術上重要な改正に関する新旧対照表.....	12
解 説.....	13

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、公益社団法人日本コンクリート工学会（JCI）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、国土交通大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS A 1155:2003** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。国土交通大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

コンクリートの反発度の測定方法

Method of measurement for rebound number on surface of concrete

序文

この規格は、2004 年に第 1 版として発行された ISO 1920-7 を基とし、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、附属書 JA に示す。また、技術上重要な改正に関する旧規格との対照を附属書 JB に記載する。

1 適用範囲

この規格は、普通コンクリートの反発度を、リバウンドハンマーによって測定する方法について規定する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 1920-7:2004, Testing of concrete—Part 7: Non-destructive tests on hardened concrete (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1 に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS R 6001 研削といし用研磨材の粒度

JIS R 6111 人造研削材

JIS Z 2245 ロックウェル硬さ試験—試験方法

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、次による。

3.1

反発度

コンクリート表面の硬度を表す指標で、コンクリート表面に重すいを衝突させ、重すいの跳ね返り量を測定することで得られる値。

3.2

リバウンドハンマー

コンクリート表面の反発度を測定する装置。